

# SawamotoDentalOfficeNews

2014年9月号



今年の夏は雨ばかりで全く夏らしさを感じない日々でしたが皆様いかがお過ごしでしょうか？

まだしばらくは残暑が続きます。どうぞお身体には十分お気を付け下さい。

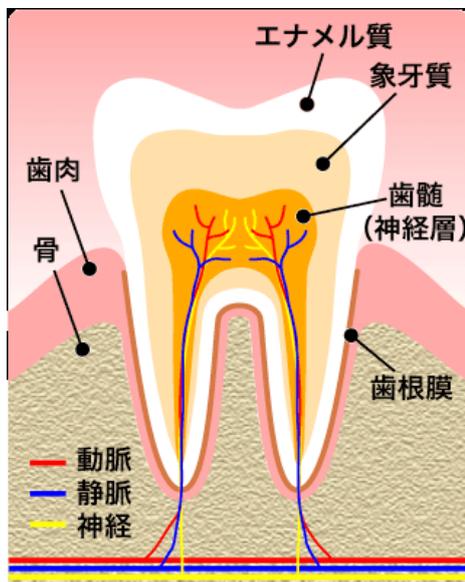
今月の澤本新聞は歯科助手の戸村が担当させていただきます。

## ●神経を取ったのに痛い。この歯の痛みどこから来るの？

「歯の神経が痛みのセンサーだ」ということはみなさん、よくご存知ですよね？

それではむし歯が悪くなったときに神経を取って治療をした後も、なぜか感じるジワジワした痛み、あれはいったいどこから来るのでしょうか？

「神経が取りきれいていないのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、実は歯と歯の周りは、歯の神経の他にも痛みや違和感を受容するセンサーだらけなのです。



- ①象牙質...エナメル質に覆われて守られているが、エナメル質が痛んで穴があくと、象牙質へのさまざまな刺激が歯髄へ伝わり痛みが生じる。
- ②歯髄...歯が痛い、といえば誰もが思い浮かべる歯のセンサー。三叉神経につながっていて、歯に起きている異常事態を脳に伝える大切な器官だが、強い炎症や外傷で死んでしまうことも。
- ③歯根膜...歯と歯槽骨をつなげる靭帯であり、噛んだ感触を伝える敏感なセンサー。三叉神経につながっていて、ここに炎症が及ぶと痛みや違和感を生じる。
- ④歯槽骨・顎骨(骨)...歯を支えている骨と、それにつらなる顎の骨。炎症が起きると痛みが生じる。



左の図のようにC3の時に歯が強く痛み、むし歯がC4にまでなると痛みがいったん楽になります。C3～C4の時期が一番危険なときです。

## ●むし歯が痛い。痛みはどこから？

むし歯はものすごく痛くなると、それほどでもないときとありますね。

これはどうしてなのでしょう？

- ①C0...エナメル質のむし歯。まったく痛みはありません。この時に見つければ歯を削らずに治すことができます。
- ②C1...エナメル質に穴が!歯の表面に小さな穴ができます。
- ③C2...象牙質がむし歯に!象牙質まで虫歯の穴が進行します。冷たい水がしみるなどの症状があらわれます。
- ④C3...歯髄にまで虫歯が!歯髄が腫れ、膿が溜まって歯の内圧が高まり、非常に強い痛みがでます。もっとも痛い時期です。
- ⑤C4...歯の周囲に炎症が!歯髄が死んでしまい痛みがなくなります。根の中に感染が広がり、骨の中に膿が溜まります。虫歯の進行状態によっては歯を残せないことがあります。

このように歯髄が感染して腫れると歯の内圧が高まり、歯髄が強く圧迫されて激しい痛みが起きます。

こうなる前に歯科のメンテナンスを定期的を受け、大切な歯を守っていきましょう。